

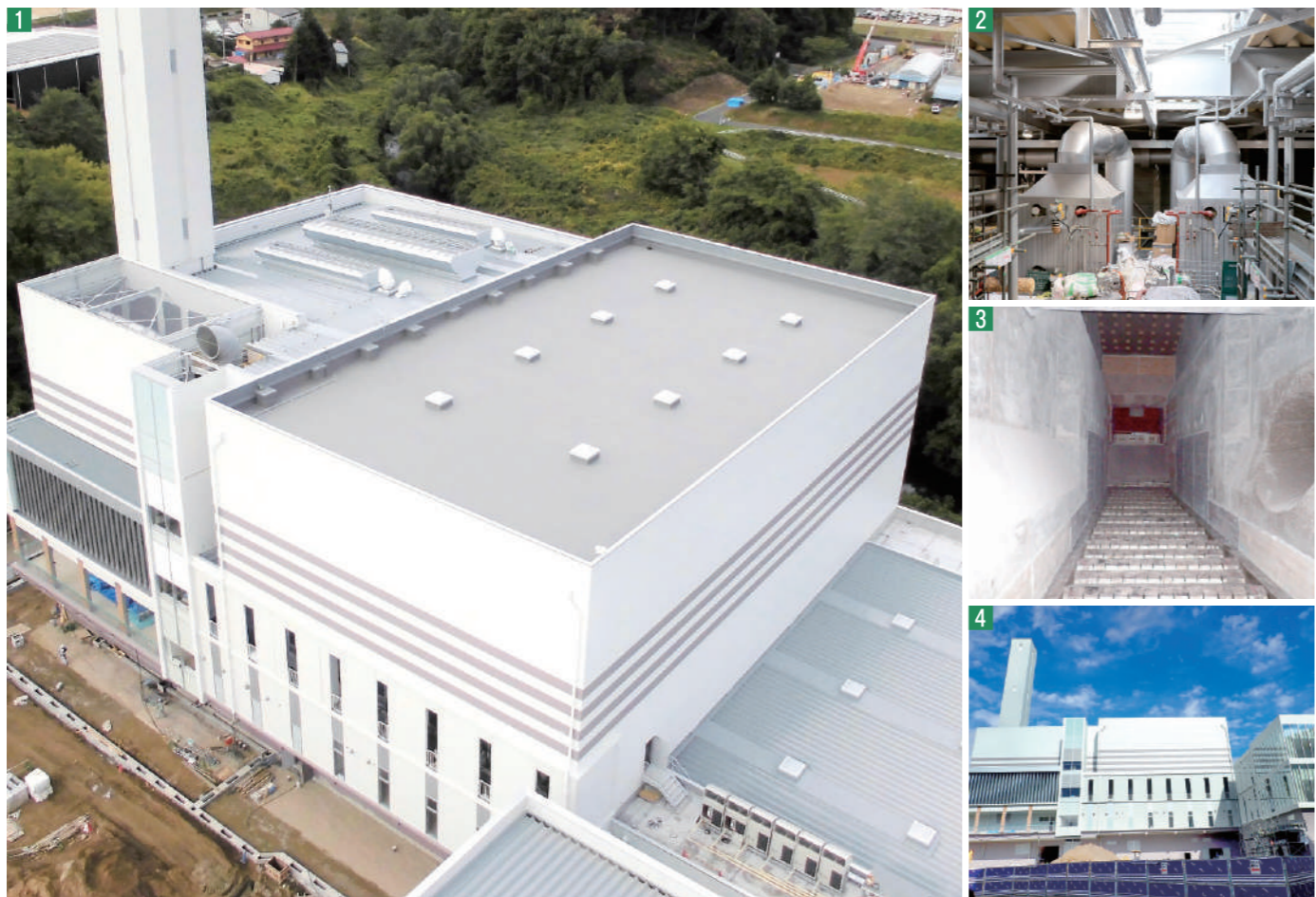


保健環境組合 だより

REPORT No.05

12

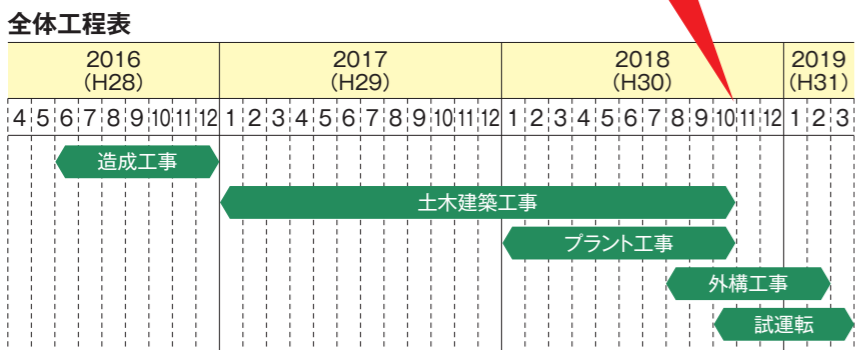
2018 Dec.



1 新ごみ処理施設の建設現場 2 熱回収装置 3 ストーカ式焼却炉内 4 新ごみ処理施設南面写真（平成30年10月下旬）

新ごみ処理施設が完成間近です!

10月下旬の建設工事の進捗率は…**94.0%**

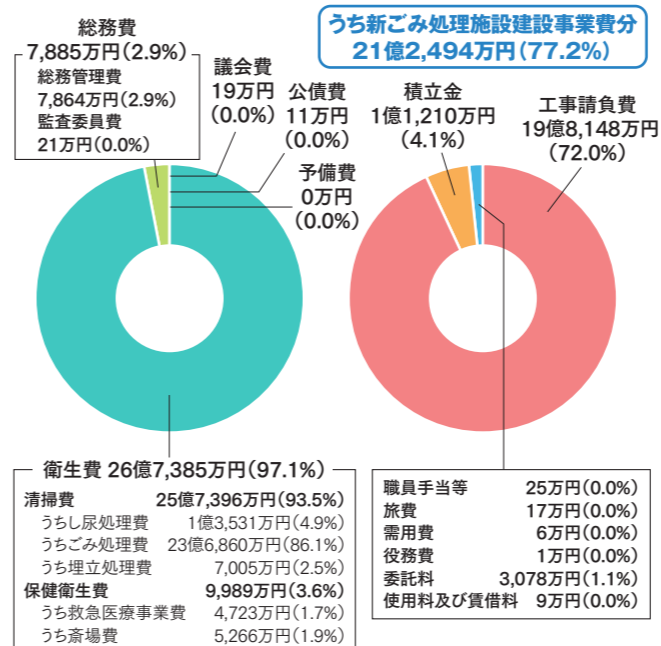


本組合が、「新ごみ処理施設建設事業」として平成28年6月から着工し、進められてきた新施設の完成が近づいています。ごみの焼却熱で発生させた蒸気を、発電のためのエネルギーに変える蒸気タービンや、焼却後の灰を搬出する際に用いられる灰クレーンなど、プラント機器が随時搬入・設置されることにより、工事の進捗率も、10月末で94.0%と大幅に上がってまいりました。今後は、外構工事と同時並行で、本格稼働に向けた試運転を行ってまいります。今後とも本工事へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

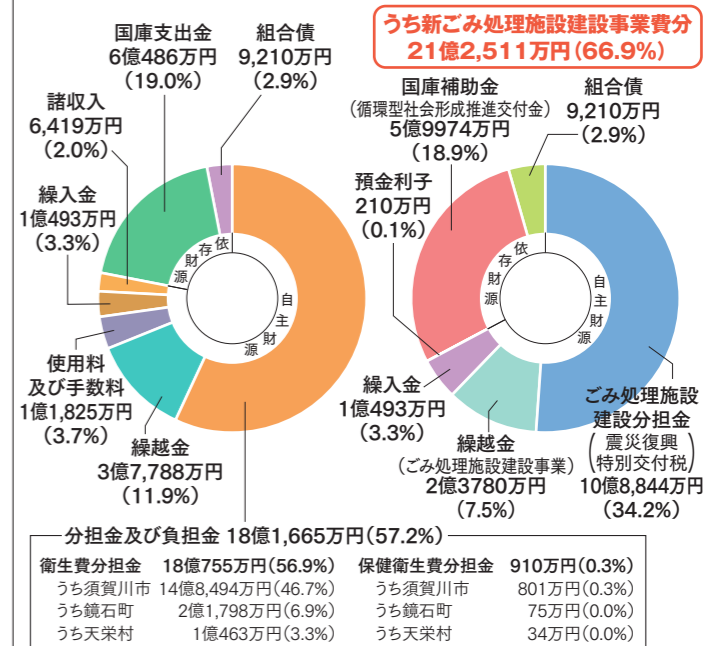
平成29年度須賀川地方保健環境組合決算報告

平成29年度の須賀川地方保健環境組合決算について、以下のとおり報告いたします。

平成29年度歳出 **27億5,300万円**



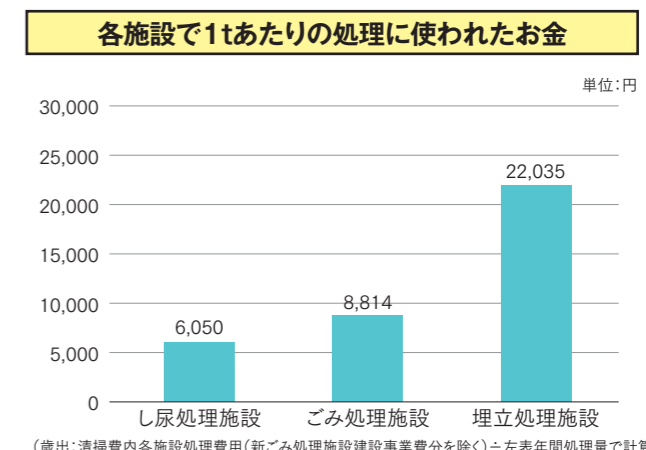
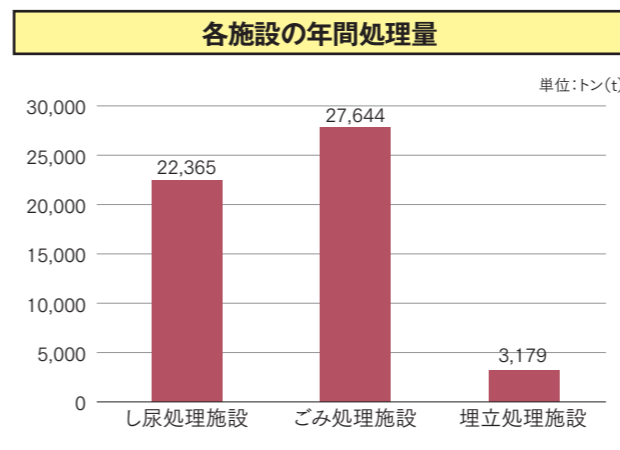
平成29年度歳入 **31億7,886万円**



歳入
内訳の解説

歳出
内訳の解説

分担金	組合各事業を行うにあたり、構成市町村に賦課(税金などを割り当てること)した収入です。
使用料及び手数料	組合各施設を利用いただいた時の使用料や、各証明書の発行手数料です。
国庫支出金	国が資金の使い道を特定して、地方公共団体に交付する支出金です。
国庫補助金	国が特定の事業(循環型社会の形成など)を奨励するために、地方公共団体などに交付する補助金です。
繰入金	新ごみ処理施設建設のために設置した基金(元手となる預金)からの繰入れです。
繰越金	前年度決算から繰り越された剰余金(残ったお金)です。
諸収入	組合預金利子や職員健康診断助成金、鉄くず・古紙類の売却代金などです。
組合債	新ごみ処理施設建設のために組合が起こした借入金です。
議会費	組合議会運営に用いられた費用です。
総務管理費	職員給与や衛生センターの運営に用いられた費用です。
監査委員費	組合監査委員(組合の財務や事業の監査を行う機関)の運営に用いられた費用です。
清掃費	し尿処理施設、ごみ処理施設、埋立処理施設の管理・運営に用いられた費用です。
保健衛生費	休日夜間急病診療所及び斎場の管理・運営に用いられた費用です。
公債費	公債の償還(返却すること)や利子の支払いに用いられた費用です。
予備費	予見が難しい歳出予算の不足が生じた際に充てられる費用です。



引き続き、適正な管理・運営に努めてまいります。

平成27年1月に総務省から「統一的な基準」が示されたことにより、平成28年度分から、全国の自治体で、新たな財務書類の作成が進められています。本組合で作成した平成28年度の各財務書類について、以下のとおり公表いたします。

④中の各活動の収支内訳

A 業務活動収支	1億1,588万円
支出	11億7,616万円
人件費支出	1億3,550万円
物件費等支出	10億3,883万円
補助金等支出	177万円
その他の支出	6万円
収入	12億9,204万円
税収等収入	8億8,608万円
国県等補助金収入	2億2,697万円
使用料及び手数料収入	1億2,105万円
その他の収入	5,794万円

B 投資活動収支	▲8,740万円
支出	1億2,326万円
公共施設等整備費支出	117万円
基金積立金支出	1億2,209万円
収入	3,586万円
基金取崩収入	3,586万円

C 財務活動収支	6,120万円
財務活動支出	0万円
財務活動収入	6,120万円

新採用職員を紹介します!



須賀川地方保健環境組合
環境係 主事
大槻 祐太郎

平成30年4月から須賀川地方保健環境組合の衛生センター環境係に採用となりました。「大槻」と申します。

4月に採用されてから、もう半年以上がたちました。これまで担当した業務内容としては、月ごとの各施設の実績・モニタリングの結果などの報告、電話応対、業者の方々との契約事務などです。

しかし、いまだに不慣れな部分も多く、上司の方や、先輩方に頼りがちになっていることがあり、まだまだ自分の力不足を感じております。

今後は、日々の業務を通して、自分でできることを増やし、周囲の方々に頼りすぎることの無いよう、業務面だけではなく、精神的にも、自立していきたいと思います。

⑤純資産変動計算書

貸借対照表内の純資産について、平成28年度中の変動を表します。

① 前年度末純資産残高	43億3,996万円
② 純行政コスト	▲12億3,743万円
③ 財源	11億1,305万円
税収等	8億8,608万円
国県等補助金	2億2,697万円
④ 本年度純資産変動額 (②+③)	▲1億2,438万円
⑤ その他変動額	0万円
本年度末純資産残高 (①+④+⑤)	42億1,558万円

当組合の財源としては、分担金や国庫支出金が挙げられます。平成28年度の当組合では、純行政コストに対して財源が不足する状態でしたが、前年度までの残高により、全額を賄うことができました。

④資金収支計算書

平成28年度の収入と支出を明確にするためのものです。年度内に行われた資金の動きがすべて記されています。

① 本年度資金収支額	8,968万円
A 業務活動収支	1億1,588万円
B 投資活動収支	▲8,740万円
C 財務活動収支	6,120万円
② 前年度末資金残高	4,776万円
③ 本年度末資金残高 (①+②)	1億3,744万円
④ 本年度末歳計外現金残高	149万円
本年度末現金預金残高 (③+④)	1億3,893万円

※業務活動収支…行政サービス活動によって生じた収支
※投資活動収支…固定資産や基金など、将来のための活動によって生じた収支
※財務活動収支…ごみ処理施設建設事業組合債など、資金調達によって生じた収支

表内の「本年度末資金残高」と「本年度末歳計外現金残高」を合わせることで、会計年度の現金預金残高がわかります。平成28年度の当組合は、投資活動収支でマイナスとなりましたが、それ以外の活動収支がすべてプラスであったため、資金収支の合計はプラスとなりました。

①貸借対照表

平成28年度末の時点で、組合が保有する資産と、負債・純資産について表したものです。

資産の部	42億7,827万円	負債の部	6,269万円
① 固定資産	36億1,638万円	① 固定負債	6,120万円
有形固定資産	35億3,015万円	その他	6,120万円
投資その他の資産	8,623万円	② 流動負債	149万円
② 流動資産	6億6,189万円	預り金	149万円
現金預金	1億3,893万円	純資産の部	42億1,558万円
基金積立金	5億2,296万円	① 固定資産等形成分	41億3,934万円
		② 余剰分(不足分)	7,624万円
資産合計	42億7,827万円	負債及び純資産合計	42億7,827万円

※固定資産…建物・工作物など、長期にわたり所有・使用する資産
※流動資産…現金預金など、短期間(1年以内)で現金に換えられる資産

平成28年度の当組合は、資産の部が負債の部を大きく上回っています。負債に頼りすぎることのない財政運営ができたといえます。
※構成市町村1人当たりの資産額 44,656円 負債額 638円
構成市町村人口 95,805人(平成29年3月31日時点の住民基本台帳)

②行政コスト計算書

平成28年度に、組合の行政サービスで生じたコストについて表したものです。

① 経常費用	14億1,642万円
人件費	1億3,550万円
物件費等	12億7,909万円
補助金等	177万円
その他	6万円
② 経常収益	1億7,899万円
使用料及び手数料	1億2,105万円
その他	5,794万円
③ 純経常行政コスト	▲12億3,743万円
④ 臨時損益	0円
純行政コスト	▲12億3,743万円

※経常費用…行政サービスを行うために毎会計年度必要となるコスト
※経常収益…行政サービスによって毎会計年度生じる収益

当組合では、経常費用の多くを、各施設の維持補修費、減価償却費などの物件費が、経常収益の多くを、各施設の使用料及び手数料が、それぞれ占めています。上記の表は、施設使用料などで回収する金額よりも、施設の維持補修などで支出する金額のほうが多いことを示しています。
※構成市町村1人当たりの行政コスト 12,916円